

田中正造の平和主義を学ぶ学習会に60名

9条の会結成3周年事業として、5月31日、中央公民館で学習会「田中正造と憲法九条」を開催し、雨が降る中を62名が参加しました。

学習会では、あじさいの会による「日本国憲法前文と九条」などの群読が行われました。

宇都宮大学名誉教授の梅田欽治先生は、「田中正造の平和思想と日本国憲法九条」と題して講演し、正造の平和思想は、自らの体験と足尾鉍毒との闘いの中で、民衆の立場に立って生まれ発展させられた。谷中村に移り住み家屋の強制破壊の時期にも、ハーグ万国平和会議に軍備全廃を提案する行動を行ない、「真の文明は山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」と憲法九条に通じる「無戦主義」にいたった経過を詳しく話しました。先生は、今、地球環境を守るためにも憲法九条を守ることが求められていると講演を結びました。参加者から「とても分かりやすい話で、田中正造の平和思想が理解できた。人類が平和に暮らすためには憲法九条を守り、生かす運動が必要なことを痛感した」「民主主義とか人権とかが知られていない時代に、よくこれだけのことを考えた后感心しました」「当時の話を現代に結び付けて話していただいたので、よく分かった」などの感想が寄せられました。



海外派兵恒久法が秋にかけての焦点に 11月24日に第3回全国交流会を開催

九条の会は6月16日に全国交流会に向けての運営委員会を開き、呼びかけ文の検討や活動報告を行いました。情勢について「参院選の結果安倍内閣が自壊し、各地の九条の会が7000を超えるなど改憲の動きを押し返しています。4月の読売新聞の世論調査でも改憲反対が賛成を上回り、9条を守るが60.1%に達し、イラク派兵違憲の名古屋高裁判決に繋がっています。改憲を進めようとする勢力は、自民、公明、民主の国会議員が参加して改憲同盟をつくり、九条の会に対抗しようとしています。また、いちいち特措法をつくらなくともアメリカの要請があればいつでも自衛隊の海外派兵ができて、武力行使も可能にする海外派兵恒久法を企てています。恒久法を許さず、九条改憲反対の世論をさらに大きくする秋へ向けての運動が求められています。」との報告がありました。

賛同署名を進めましょう。



秋への運動として九条の会は、学校区ごとに会を作ろうと呼びかけています。賛同署名をさらに増やしましょう。現在878名です。また、海外派兵恒久法の学習会も企画中です。

会のホームページ、ブログが好調

ホームページは[あきる野9条の会](http://a9akiruno.net/) で見られます。会の連絡や報告はブログにも掲載しています。学習会「田中正造と憲法九条」のレジュメなどもダウンロードできます。

アドレス：<http://a9akiruno.net/>

映画「日本の青空」40万人が鑑賞



7月1日に映画「日本の青空」東京上映会の交流会が都内で行われ、会から2名が参加し、苦労話やその後の取り組みなどを報告しました。

当日は大澤豊監督と鈴木安蔵の長女鹿島理智子さん(80歳)も参加しました(写真)。大澤監督は3月に「日本の青空」で日本映画復興賞を受賞、次は憲法25条に取り組みたいと話していました。6月までに東京では試写会と30の会場で上映会が行われ4万人が鑑賞しました。全国では40万人が鑑賞しています。

戦争体験をお持ちの方 手記をお寄せください。締め切りは8月末です。

これまでに 14 名の方から手記が寄せられました。会では、もっと多くの方に手記を書いていただきたいので締め切りを 8 月末に延長しました。父母から聞いた体験でも結構です。冊子にして伝えましょう。手記は 500 字程度(最大 2500 字)でお寄せください。送付先：事務局。HP の [お問合せ](#) からメールでも受け付けます。

福生市民会館も満席の大好評！

憲法ミュージカル in さんたま 「ロラ・マシン物語」

福生公演 (5 月 18 日) は満員の盛況でした。三多摩では 6 公演、6000 名が鑑賞しました。ミュージカルに出演した渡部幸子さんの感想を掲載します。



「ロラ・マシン物語」に参加して

渡部 幸子 (伊奈)

出演者募集の一枚のチラシがご縁でした。『憲法』という言葉と弁護士さん達の日本の憲法に対する『熱い思い』に魅かれて、このミュージカルに私は飛びこみました。合唱経験だけで入った私は、すぐに、(ミュージカルは踊りもあるんだ...) (暗譜なんだ...) (どうしよう...) と、自分の浅はかさに愕然としました。

土日祝の休日を使った練習。初めての私は、もう大変!! でも、人間って、必死になる時、まわりの人々との係わりも強く深くなっていくものですね。助けてもらったり、励ましあったり、学ぶ楽しさを体中で感じる事ができました。

今回の『ロラ・マシン物語』は、フィリピンの慰安婦問題を取り上げ“人間の尊厳”をテーマにした話でした。私達出演者は、演じるだけでなく学ぶ機会もたくさん頂きました。その中で、平和の大切さ、今の憲法が守っているものの大きさや、過去のこととされている戦争が実はまだ終わったとは言えないことに改めて気づきました。

また、日本兵を演じた仲間達の葛藤 (すぐには立ち直れそうもないくらい打ちのめされていました)を通して、極限まで追い詰められた日本兵の状況や心情を考えました。極悪非道な日本兵でも、一人ひとり、私達のそばにいる夫や息子や父、兄や弟、恋人や友人と同じ人々だったと思うと身の毛がよだつ思いです。自己の尊厳を守り通すことが許されなかった日本兵もとても哀れです。だから、ロラのことを想っても、日本兵のことを想つても涙が出ます。すべてを壊し狂わせる戦争はしてはいけません。許すことはできないと心から思いました。

そして今、私の頬を流れるのは間違いなく幸せの

涙です。殺戮・略奪・強姦などという人間が作り出す不幸、戦争で受けた人々の深い悲しみや苦しみの涙を想いながらも、私の頬を伝わる涙は同情でも哀れみでもなく、申し訳ないけれどこれは幸せの涙です。自由に考えることの出来る幸せ。大切なことをはっきり口に出して言える幸せ。そして、多くの仲間がいる幸せ。これを守りたい。

公演を終えて、ミュージカルを支えてくださった皆さん、観てくださったのべ 6,000 人の皆さん、多くの仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。

9 条の会の皆様 ありがとうございます。

催し物報告

◆ SiCKO(シッコ)上映会

5 月 9 日の上映会には 601 名が参加し、多くの方から感想文が寄せられています。

◆ 日の出九条の会 3 周年・講演と朗読の二人会

7 月 6 日、日の出グリーンプラザで、講演 (アジア・太平洋戦争とはどんな戦争だったのか / 吉田裕先生・一ツ橋大学院教授) と朗読 (私たちは中国で何をしたか / 山本亘さん・俳優) が行われ、113 名が参加しました。

◆ 7.13 全国大集会 in 横須賀

原子力空母 NO、I Love Peace と横須賀で 7 月 13 日行われた集会には 3 万人が結集、あきる野からは 25 名が参加しました。



催し物紹介

◆ 青梅九条の会 3 周年・市民のつどい

7 月 27 日(日) 13:00 から青梅市民会館大ホールで、「ネルソンさんと語ろう、戦争の真実」ほか。参加費 300 円

◆ 広島市民が描いた原爆の絵展

8 月 11 日(月)から 15 日(金)まで、あきる野市役所 1F ロビーで。主催:あきる野原水協 後援:あきる野市教育委員会

◆ 横田基地の撤去を求める西多摩の会結成会

8 月 31 日(日)13:30 から羽村コミュニティーセンター 3F ホールで。主催:同準備会

◆ 朗読とピアノでつづる平和への思い

8 月 31 日(日)14:00 からあきる野市役所 1F ロビーで。主催:群読サークル・あじさいの会

訃報 9 条の会 2 周年記念で憲法九条の朗読をしていただいた森迫真喜さん(45 歳)がお亡くなりになりました。心からお悔やみ申し上げます。

★ 8 月の定例サポーター会は第 2 土曜日

8 月 9 日市役所 1F ロビー、10:30~12:00。

A9 ニュースでは、九条を守る皆様の意見や情報の投稿をお待ちしています。(事務局までお寄せください。Eメールアドレスは info@a9akiruno.net です)